

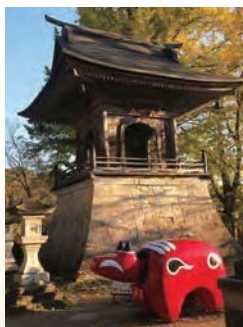
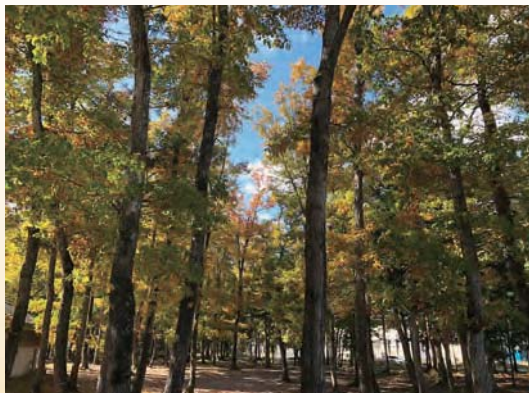


只見川に架かるJR只見線のアーチ型橋梁。色づき始めた奥会津の山々を背景にした、まさに絶景だ



「森の校舎カタクリ」で出される地元の手料理

人里からちょっと外れれば、ご覧のように「ぬくもり」のある森林が広がる



柳津（やないづ）町にある赤べこ発祥の地・福満虚空蔵菩薩圓藏寺。「清子」がお出迎え



奥会津は名湯・秘湯の地でもある

戊辰戦争の際の銃痕が寺の柱にまだに残る



日本で最も美しい村で

出張で郡山に行ったくらいで、福島を訪れたことがある、と言うのは正しくない。ここ奥会津には豊かな緑、なだらかな山々と、緩やかに流れる川がある。この只見川と伊南川流域にある7町村は、歳時記の郷・奥会津と呼ばれている。

「森の校舎カタクリ」に宿泊した。廃校となった立派な建物を、子供の声が途絶えた寂しさから三島町の人々が手作りで宿泊施設として甦らせたものだ。部屋名を「二年三組」などと呼んでいるが面白い。食事は地元の主婦の手作り。心のこもった手料理で、すこぶる美味い。

失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観や文化を守る活動を続ける特定非営利活動法人「日本で最も美しい村」連合(三嶋町を、「日本で最も美しい村」(the most beautiful villages in Japan)と認定した。日経の「何でもランキング」で紅葉の美しい鉄道路線第一位に選ばれた只見線に乗って、只見川に沿った美しい光景を御堪能頂きたい。ここも豪雪と過疎化に悩むが、失ったら二度と取り戻せない景色が残る。

文/写真: 戸田光太郎、写真協力/福島県観光復興推進委員会